

山ぼうし

第16号 平成18年 7月27日

山ぼうしは「立志の樹」といわれ、本校正門脇に植樹されており、
花も実も 蒼天に立つ 山ぼうし
の碑（初代 PTA 会長盛合聡の揮毫）がある。



「勝負は夏休みにあり！」

校長 及川 敏 昭

新年度がはじまり、早いもので4ヶ月がすぎました。一年生諸君もすっかり高校生活になじみ、二年生は中堅学年・三年生は最高学年としての自覚が見られ、それぞれの学年としての表情や風格となり大変頼もしくなっておりまいた。放課後の体育館やグラウンドからは部活動に励む生徒たちの元気な姿や声が聞こえてまいります。

今年度の高校総体や県民大会ではほとんどの部が厳しい地区予選を突破して県大会に駒を進め、各部とも大いに活躍をしていただきました。特に卓球部の東北大会出場や県民大会での活躍は本校生徒達に大きな自信と誇りを与え、学校全体が大いに盛り上がり活気づいているところであります。

また、灼熱の雫石球場や八幡平球場での夏の野球県大会は選手や応援の生徒達に数多くの感動と思い出を残しながら共に燃え尽きました。試合に勝敗はつきものですが、正々堂々、ベストを尽くして戦った選手諸君に対し拍手で賞賛のエールを送ります。

もとより、試合に出場する以上は勝つことを目指して毎日努力する訳ですが、試合の勝敗よりも辛いことや苦しいことから逃げずに頑張っ、自分の最善を尽くすということが大切であり、勝敗はその結果に過ぎないということであると思ひます。

これらの試合でプレーした生徒達も、共に一生懸命に流した汗の量だけ秋にはきっと多くの稔りがあることを確信するものです。また、猛暑の中で我が子の為に一生懸命に応援をして下さいましたご父母の方々に心から感謝を申し上げます。

三年生の就職戦線は相変わらず厳しい状況が続いておりますが、団塊の世代の大量退職や景気の上昇に伴い工業高校に直接関係のある製造業が牽引車になって求人数が増加していることなど、明るい兆しが見えていることは嬉しいかぎりです。

ご存知のように、今年度も就職支援相談員の伊藤さんが本校に配置となり、先生方と一緒に大いに積極的に近隣の企業に就職開拓のために訪問をして頂いております。工業高校生は身に付けた確かな技術・技能があります。即戦力として各企業から期待をされるようにぜひ在学中に専門技術や技能を一生懸命に磨き、資格取得等にも積極的に努めてほしいものです。

さて、間もなく学校は夏休みになりますが、三年生は進学や就職等の試験を控え、この夏休みは、学力の向上にいつそう努力しなければなりません。また、一・二年生も先の見通しをもって不得意な教科を克服したり基礎学力を充実したりすることが大切です。

「勝負は夏休みにあり」のつもりで、部活動に励み健康や基礎学力の向上、充実のために有意義にすごしてほしいと思ひます。

7・8月行事予定

(夏季休業 7月28日～8月17日)

- | | |
|-----------|----------------|
| 7月28日(金) | 一日体験入学 |
| 8月 2日(水)～ | 3日(木) ガス溶接講習 |
| 8月 7日(月)～ | 9日(水) ボイラー実技講習 |
| 8月18日(金) | 授業始め式、休み明け試験 |
| 8月21日(月) | 身長・体重測定 |
| 8月23日(水) | 第2回進路推薦会議 |
| 8月24日(木) | 服装・頭髪検査 |



大会等 結果報告

第60回東北高等学校卓球選手権大会

男子ダブルス (1組出場) 3回戦敗退
男子シングルス (2名出場) 1回戦敗退 1名 2回戦敗退 1名

<県民体育大会>

- 卓球部
男子シングルス (7名出場)
ベスト16 1名
第3位 1名
- 弓道部
近的 24射 12中
遠的 39点
- バレーボール部
1回戦 本校0-2水工
- バスケットボール部
1回戦 本校42-82盛四
- 柔道部
個人戦 (7名出場)
軽量級 1回戦敗退
軽中量級 2回戦敗退
中量級 1回戦敗退 (2名)
軽重量級 1回戦敗退
無差別級 1回戦敗退
ベスト16
- ラグビー部
Bブロック
1回戦 本校24-14水工
2回戦 本校15-0盛南
A Bブロック入れ替え戦
本校17-33釜南
- 剣道部
1回戦 本校-北上湘南 2勝2敗1分
代表戦 本校1-0北上湘南
2回戦 本校-北上湘南 2勝2敗1分
代表戦 本校1-0市立
3回戦 本校-盛南 0勝2敗 (ベスト16)

第5回岩手県高等学校文化連盟将棋竜王戦

A級トーナメント 2回戦敗退
B級トーナメント 2回戦敗退
C級トーナメント 2回戦敗退

野球部・夏・健闘!

7月13日より、三年生には最後となる夏の高校野球岩手県大会が行われ、初戦の相手は大迫高校。球場は昨年花巻北高校と対戦し、9回にサヨナラ負けし悔し涙を流した場所。今年のチームの目標である「打倒私立」の為に大迫高戦を絶対に勝ち、次の花東戦に行くという気持ちがありました。注目の第一試合は、先発のエースの久保田 (M3・津軽石)、キャプテンの川口 (F3・宮古西)、古舘 (F3・河南)、豊間根 (M3・豊間根)、佐々木良太 (F3・宮古一) らクリーンナップの活躍で11対4と見事コールド勝ちを果たしました。中継ぎの佐々木忠幸 (F3・河南) やコールドを決めるランナーとなった伊藤 (F3・宮古一) など途中出場選手の好プレーや、大森 (M3・重茂) など守備面もノーエラーということで、いい流れで一日置いて花巻東戦を迎えました。試合前からの元気は、私立高校をのめるほどの勢いがありました。初回の劇的な先制点。「イケル、打倒私立が果たせる」。しかし、その裏、ヒットやエラー等で五点を返されてしまいました。しかし、気持ちは切れることなく逆転に向けてチャンス作りをしました。小林 (I3・河南) の巧打や先発でマスクを被った捕手・南舘 (M3・河南) のしぶといヒットといった攻撃、途中から登板の久保田、佐藤 (I3・豊間根) のバッテリーの好投と堅守に助けられ、手に汗握る展開。しかし、あと一打が出ず、一対八で七回へ。ツーアウトをとられても、『負けない』という気持ちがありました。古舘が四死球を選び、バッテリーミスの際に二塁へ。続く豊間根がレフトへヒットを放ち、三塁。四番の佐々木良太がライトへ執念のヒットを放ち一点を返しました。ベンチ内の『まだ終わらない』、その気持ちが良太のバットに乗り移ったのでしょうか。しかし、最後は一点を返され2対9。サヨナラコールド負けとなってしまいました。多くの選手たちは涙を流し、目を真っ赤にして、『有難う』などと声をかけながら握手をしましました。今年の三年生は初めから最後まで一人もかけることなくやってきました。最後まであきらめない。力を出し切る。今まででは表面上であまり見られなかったチームカラーを見せ後輩にいい置き土産が出来たと思います。今まで自分たちを支えてくれた父母の方々、全校で盛り上げてくれ応援団、全校生徒、先生方応援有難うございました。(記録員・I3・佐々木貴浩)

